

## 太田市自分ごと化会議 2023

### 第3回会議 議事概要

日時	2024年1月20日(土) 13時~16時
場所	太田市役所 3階 大会議室
コーディネーター	千葉県市原市 企画部長 高澤 良英

凡例) コ：コーディネーター、ナ：ナビゲーター、委：委員、市：市職員

#### 議事概要

##### ■前回会議の振り返り

高澤コーディネーターがパワーポイントを用いて前回会議の振り返りを行った。  
(詳細は別紙パワーポイント資料を参照)

コ これからグループで課題整理をしてもらう。その中で、個別交通(自家用車)と公共交通を比較して検討するのはやめてほしい。

コ 市バスの中に広告をつけた場合、広告料は市に入るのか。

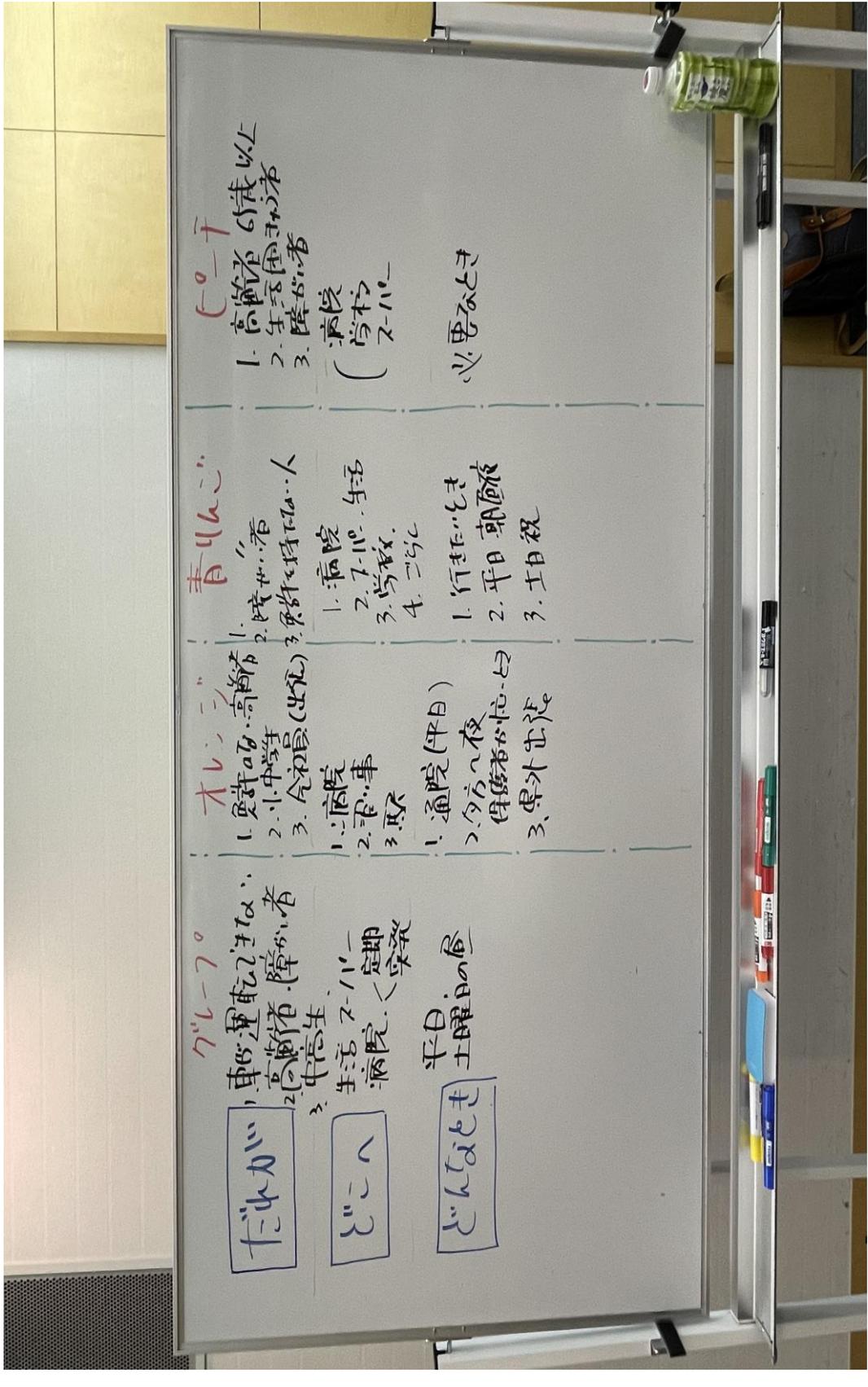
市 市には入らない。バスの運行事業者に入る。

##### ■公助の範囲について考える

各グループで太田市の公共交通で公がカバーすべき範囲はどこまでかを話し合った。

各グループの検討結果は次のページのとおり。

(各グループ検討結果)



■解決策検討に向けた情報提供

ナビゲーター(株式会社パブリックテクノロジーズ 杉原裕斗氏)よりライドシェアに関する情報提供

ナ 私の会社は地域課題の解決を事業として行っている。その中で、構想日本と連携し、自治体の公共交通担当者向けにセミナーを開いている。今年は太田市の自分ごと化会議のテーマが公共交通ということで、ライドシェアのことも触れながら、日本の公共交通の現状と課題、そもそもなぜライドシェアが話題になっているかなどを伝えていきたい。

ここで質問なのだが、海外でライドシェアに乗ったことがある人はいるか。

乗ったことがある委員 0人

ナ この結果が現在の日本のライドシェアの現状。どこの自治体でこの質問を聞いても同じような結果になる。その中で課題がどこにあるのかというところから話をしていきたい。

(詳細は別紙「地域の公共交通を取り巻く現状と検討の視点・課題」を参照)

➤ 説明後に出た、主な質問、意見

委 太田市としてライドシェアをどのように考えているのか。自分がライドシェアを使う場合の条件があるのか知りたい。

市 市としては、今ある公共交通でやっていきたいと思っている。地域によっては、公共交通が不便なところがあると地区から市長に意見が上がっているということなので、それを加味しながら検討していきたい。すぐライドシェアに取り組むというのは難しい。

コ 岸田内閣になってライドシェアが話題になっているが、その理由は2つある。ひとつは、観光地で公共交通の運転手が不足していたり、2024年問題で運転手が不足したりしているから。

もうひとつは、地方でタクシーを呼んでも来ないところが増えていたり、タクシー事業者がない地域が増えてきているから。

ナ 昨年末にライドシェアに関する結論が出ているのだが、タクシー会社が運行管理すればライドシェアを行ってよいことになった。また、今までガソリン代などの実費しか出せない形だったのが、タクシー運賃の8割くらいまで運転手に出してよいという形に変わった。

もし、自治体に導入する場合は、時間と地域を区切ってライドシェアを行うようになる。また、利用する際はアプリやおうかがい市バスの予約制度を使って予約するようになるのではないかな。

委 高齢者にも簡単に予約できるシステムはあるのか。

ナ おそらく、おうかがい市バスに近い予約方法になるのではないかと。もしおうかがい市バスがいっぱいだった場合は、ライドシェアの車が行くという形になるのではないかと。

委 自力で乗り降りできない人などは、ライドシェアをお断りすることはあるのか。

市 要綱の中に自力乗降できる方というのが入ってくると思う。

ナ 地域の中で乗降を支援してほしいニーズが多い場合は、ドライバーの希望とマッチングさせて運用していくのは可能。ただスタートから行うのは難しい。

委 ライドシェアの予約を高齢者でもしやすいうように電話で受ける場合、人を構える必要があり経費が上がりそうだが、成り立つのか。

ナ ライドシェア単体で取り組むというよりは、おうかがい市バスなどのデマンドバスと一緒に取り組むようにすればいいと思う。つまり、おうかがい市バスの予約オペレーター業務にライドシェアの予約業務を組み込むかたちがいいと思う。

ライドシェアがアプリで予約を取る理由は、その時のタクシーの稼働状況に応じて運賃を決めるのを想定しているから。乗れるタクシーが少ないときは運賃を上げて、多いときは運賃を下げるようになる。電話だとこれが大変だからアプリを使おうとしている。

委 地域公共交通事業者の8割が赤字になっているということだが、その要因はなにか。

ナ 公共交通がたくさん利益を生む事業ではないから。それと、市民の心理として、乗らないけどなくなると困るといふのがあるため、廃止するのがすごく難しいから。また、自治体も交通事業者がなくなると困るから赤字でも補てんして事業を継続するということが起こりやすいから。

委 ライドシェアを導入した場合の初期費用はどのくらいかかるのか。

ナ 年間数百万円位の予算になると思う。

委 実費相当の報酬だけでは、なり手がいないと思う。日雇いバイトのようにタクシー会社に申請して働くことはできないのか。

ナ タクシー運賃の8割程度まで報酬を出せるようになってきている。日雇いバイトのほうは、タクシードライバーとして働く場合には2種免許が関係してくる。1種免許を取得してから3年経過したのち、2種免許講習を20万円～30万円払って取得し、そこから日雇いバイトのような働き方をするというのは選択肢としてありだ

と思う。

タクシー配車アプリで有名なG0は、副業タクシードライバーを推進していて、2種免許取得をサポートしている。

委 ライドシェアの日雇いバイトの場合は2種免許はいらぬのか。

ナ いらぬ。

委 そうすると、高齢で他の仕事はないが、日雇いでちょっとドライバーをやりたいという人が増えるかもしれないと思った。

ナ おそらく、夜だけドライバーをやるというケースも増えると思う。

委 自分がライドシェア解禁後すぐライドシェアドライバーをやりたいと思ったらすぐできるものなのか。

ナ タクシー会社の研修を受けてからになると思う。

委 ライドシェア中にトラブルや事故を起こした場合、タクシー会社は助けてくれるのか。

ナ そこが今回のポイントになっている。

#### ■ナビゲーターより所属企業の事業説明

ナ 株式会社パブリックテクノロジーズが行おうとしているライドシェアについてここで話したいと思う。

(別紙「事業説明資料」参照)

#### ■解決策の検討

コ この会議の最後に「提案シート」を提出してもらう。

まずは模造紙に貼った付箋を参考にテーマを決めて、その解決策を提案シートにまとめて欲しい。

まずは、グループでどんなことをテーマにして提案シートに書こうか話し合っ欲しい。

(10分間グループで話し合い)

コ 10分経過した。提案シートを個人それぞれでまとめてほしい。

(15分間個人作業)

コ 15分経過した。ここで次回に向けてのお知らせをする。

皆さんから集めた提案シートをとりまとめ、提案書を2月下旬ごろ皆さんのもとに

届ける。第4回会議はそれを読んだうえで参加してほしい。次回までに思いつくこともあると思うので、それは次回会議で提案書に追加したいと思う。

ここでマイクを1人ずつ回すので、提案シートに書いたことや今日の感想を話してほしい。

➤ 委員の感想、提案シートに書いたこと

委 自分が現状困っていないので改めて考える機会になり、勉強になった。特にライドシェアは勘違いしていた部分があったので、なるほどと勉強になる部分があった。

委 元々公共交通を使わなかったので、どんなものかなと思っていたが、毎回グループワークをする中で、いかに自分が勉強不足だったかを感じた。提案書がどのようにまとまるのか楽しみ。

委 ライドシェアという言葉すら知らなかったのでも勉強になった。今日は公共交通機関を使って来ようと思ったが、藪塚駅前の駐車場を見たら一日500円の駐車場だったので、歩いて駅まで行こうと思ったが、用事があってできなかったため、次回は必ず公共交通に乗って来たいと思う。

委 太田市で走っているバスに1回しか乗ったことがなく、よくわからなかったのでも勉強になった。学校に行くときや、自転車が使えないときにバスを使ってみようと思った。

委 ライドシェアのことは知らなかったのでも勉強になったし、知る機会になって本当に良かった。提案シートで今の課題と向き合って10年後20年後になったときを考えるいい機会になった。自分が小学生の時はまだバスが多く走っていて、走るごとに金額が上がっていくことや降車ボタンを押すのが楽しかった記憶があるので、今の子ども達にも広がってほしいと思った。

委 今日いろいろ話を聞いて、近い未来に太田市でもライドシェアができればいいなと思った。太田市にお願いする形にはなるが、もしライドシェアが出来たら自分も貢献したいと思った。

委 人口ピラミッドを見て危機感を覚えた。ピラミッドの下にふくらみがない(若い世代の人口が少ない)ため、交通の未来は暗いと思った。今のうちからどう公共交通を維持するか、使う側にシフトしないと自分が使いたいときにないという状況にならないよう意識を持つようになった。

委 ライドシェアが理解しきれていないが、太田版ライドシェアができればいいと考えてる。ナビゲーターからおうかがい市バスとうまくタイアップできないかという話があったのでそれを実現してほしい。また、シティーライナーの東西横断化をしてほしい。

委 高校生で免許のことも詳しくないし、公共交通の実感もなかったが、これから成長して自分が免許を持ったり、返納したりする時に困らないように次回も考えたいと思う。

委 需要と供給のバランスで、公共交通の利用が少ないのは認知度が低いからだと思う。なのでPRなど多くの人に知ってもらう取り組みを行うべきだと思う。

委 初めて会議に参加したが、公共交通は利益が出ないが、なくなると困るというのは自分も感じている。走らせているからにはたくさんの人に使ってほしいので、この会で少しでも案を出せばいいなと思った。ただ、置かれている立場によって状況が異なるので、意見をまとめるのは難しいと思った。市役所の方などはいろいろなことを考えながら提案して下さっているのがわかった。それを踏まえて利用したり、こういう制度があるよと周りに言えるようにしたいと思った。

委 第1回会議に参加するまでは、公共交通機関を利用する人がいるであろうと思っていたので、なぜ便数を増やさないのだろうと思っていたが、今回ナビゲーターの話を聞く中で採算が取れていない。さらに運転手の確保もできないということを知って想像以上に公共交通をどうしていくのか考えるのは大変だと思った。その中でライドシェアなどの方針が出てきているんだなと思いながら聞いていた。現実を知ったがゆえに今後どうしていくべきなのか悩むことになった。

委 70歳になって思考停止している脳が、ここに来ると活性化して、毎回楽しくやらせてもらっている。今回もありがとうございました。

委 楽しかった。次回もまた来る。

委 今回初めて参加したのだが、ライドシェアやグループでの話し合いの中で、自分になり意見を聞くことができ、とてもいい体験になった。次回もまた参加したい。

■次回会議に向けて

市 次回は3月2日(土)の13時から。引き続きよろしくお願ひしたい。